

令和 8 年度 日置市教育委員会定例会（9 月）

○日 時：令和 8 年 9 月 18 日（金） 午後 7 時 00 分～午後 8 時 00 分

○場 所：日置市中央公民館 講座室 3（3 階）

○出席者：奥教育長

委 員：内村委員・中島委員・鶴木委員・中川委員

事務局：上村（事務局長）・有馬（教育総務課長）

段原（学校教育課長）・入佐（社会教育課長）

内田（東市来支所教育振興課長）・坂上（日吉支所教育振興課長）

大迫（吹上支所教育振興課長）・宮前（教育総務課長補佐）

1 開会

奥教育長： 日置市教育委員会 9 月の定例会を開会します。

2 前回議事録の承認

奥教育長： 前回 8 月の議事録の承認をお願いします。変更や修正等はありませんか。

（特になし）

よろしかったでしょうか。

（異議なし）

それでは、8 月の議事録は承認とさせていただきます。

【前回の議事録承認】

署名・押印は、中島委員と中川委員をお願いいたします。

3 委員及び教育長の報告

奥教育長： 委員及び教育長の報告です。中島委員、お願いいたします。

中島委員： 前回の定例会以降の出席等について、報告いたします。

9 月 15 日は、鹿児島県教育事務所と日置市教育委員会合同計画の学校訪問で湯田小学校を訪問いたしました。児童数は、特別支援学級 4 学級 20 人を含めて 12 学級 217 人、教職員が 25 人の構成になっています。

校訓「かしこく ゆたかに たくましく」、学校教育目標に「主体的に学びに向かい 心豊かに たくましく生き抜く 子どもを育てる」を目標に、長崎校長から学校経営説明がありました。

特色ある活動では、郷土の教育的風土、創立156周年の伝統を生かし、コミュニティースクールとして、保護者や地域と共に子どもを育てる開かれた学校づくり、風格ある教育の推進を目指されています。

職員相互の融和と信頼関係を基に、協働的で互いに高め合う職員集団を目指されています。特に新規採用の先生の育成では、ベテランの先生方が丁寧に相談等に応じていることをお聞きして、先生方の協力体制がしっかりしていると感じました。

先程申し上げた特色ある教育として、ふれあい達志塾を夏冬2回開催されています。本年度は27回目で、地域の方々が指導者となり、川遊びや昔遊びなどを、PTA会員からの協力を得ながら、子ども達と一緒に活動しています。

一番魅力的な活動が「フューチャーミープロジェクター将来の自分プロジェクター」を掲げており、6年生の児童とその保護者を対象に、伊集院高校、市来農芸高校、神村学園、城西高校の4校の先生方を招いて、高校生と一緒にガイダンスを行い、小学校の段階から自分の将来への意識を高め「今後どのように生きていったらいいか、学業に励んだらいいか」を考える取組となっています。

また、湯田小学校は校舎の裏にJR鹿児島本線、国道3号、南九州道など、危険な箇所がたくさんあるということで、安全対策にも努めているとのことでした。教育事務所の坂口所長より、いちき串木野市で夏休みの最後に悲しい水難事故がありましたが、安全面については常に注意を払ってほしいと指導もありました。

9月17日は、日置市教育委員会の学校訪問で伊集院北小学校を訪問いたしました。私は仕事の都合で遅れて到着しましたので、その部分は後ほど他の委員の方から報告いただければと思います。

児童数は特別支援学級2学級8人を含む、合計8学級95人、職員数は20人となっています。

平成30年8月に新校舎が完成して8年、校舎内は木目を生かし

て通路や教室は温かみがあり、学びやすい環境で、児童は誰とも元気に挨拶ができていました。先生方も児童としっかり向かい合い、表情豊かに子ども達の意見を捉えながら、授業を進めていました。

特に印象に残ったのは、学校と地域が深く関わる「みまもりの木プロジェクト」です。入学して僅か10日間程で病に倒れた児童の命の大切さを思いながら生活をしようということで、このプロジェクトが行われています。

ハナミズキの木の花言葉は「永続的」や「私の思いを受け取ってください」ですが、その児童はピンクの花が好きだったそうです。学校訪問資料の表に、みまもりの木に語らう子ども達の写真がありましたが、先生と児童が命の大切さをしっかりと受け止めて授業に取り組んでいる様子を目にしました。

市教委の指導で、最後に校長先生が感極まる場面もありましたが、今回の学校訪問で、先生方と児童が向き合い、保護者も含めて、子ども達を6年間教育する中で、先生方の働き方や子どもに対する思いを改めて深く感じました。以上です。

奥教育長： ありがとうございます。鶴木委員、お願いいたします。

鶴木委員： 報告させていただきます。

伊集院北小学校の学校訪問だけが今回の活動でしたので、中島委員が詳しく述べられましたが、中島委員が来られる前のことについて報告いたします。

事前に頂いていた訪問資料に目を通し、学校の現状を一通り理解して参加させていただきました。当日は校長及び教頭から更に学校経営状況の具体的な説明を受け、学校が教育目標の実現に向けて一丸となって取り組んでいる事柄と、抱えている課題についても明確になったと思います。

特に「本物に触れる体験活動」の取組は、小学生にとって大きな刺激になり、彼らの将来設計やキャリア形成にも繋がるものになると思います。

驚いたのは、校長の説明にもあった「歩いて登校する児童」が半数程しかいないということでした。通学路が国道3号と並行していることでの危険性や、朝は時間的に余裕がないなどの理由はあるものの、ランドセルを背負って登下校する子ども達にとつ

て、歩くことは体を鍛えることに繋がるとともに、気付きや発見を通して交通ルールの遵守や通学路の安全確認にも繋がるものだと思います。

奥教育長の「子どもには鍛えられる権利がある」という考えを基に、「歩育の推進」について、保護者を巻き込んだ取組になるよう努めてほしいと思いました。

また、授業参観を通して接することができた子ども達の豊かな発想は、少し頭が固くなっている自分自身にとっても良い刺激になり、良い学校訪問ができたと思いました。以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。中川委員、お願いいたします。

中川委員： 前回の定例会以降の活動について、ご報告いたします。

8月23日は、吹上図書館の開館20周年記念謎解きイベントに参加いたしました。図書館の歴史を振り返りながら謎解きを楽しむ、スタッフの皆様の工夫が詰まったイベントでした。

スタッフの皆様は日頃から季節や話題に合わせた選書や展示で、図書館を盛り上げてくださっています。今後も、子ども達や地域の皆様に、読書の楽しさを伝えていただきたいと思います。

同日は、吹上実総アリーナの「スポーツ×パラフェスタ」にも参加いたしました。参加者は、フラッグラッド鹿児島選手とのバレーボール体験、車椅子バスケットボールなどのパラスポーツやニュースポーツを楽しんでおりました。子ども達にとって、楽しみながら障害のある方の暮らしや福祉を考える貴重な機会となりました。

8月28日、29日は伊作太鼓踊が行われました。今年は花熟里保存会が担当し、女性や女子児童も踊り手・歌い手として参加しており、2日間に計29カ所で披露されました。

厳しい暑さの中ではありますが、約20kgにもなるという矢旗や太鼓を背負って、力強く踊る姿には毎年心を打たれます。少子高齢化により継承の課題もあると伺っていますが、無理なく続けられる方法を柔軟に検討しながら、この素晴らしい伝統が受け継がれることを願っております。

9月4日は花田小学校、11日は永吉小学校の鹿児島教育事務所・日置市教育委員会合同計画学校訪問に伺いました。9月17日は、日置市教育委員会学校訪問で伊集院北小学校に伺いました。

2学期が始まって間もない時期ということで、3校とも夏休みの作品が校舎や教室を彩っておりました。運動会を控えている学校もありますので、引き続き暑さに気を付けながら2学期も元気に学んでほしいと願っております。

9月5日には、芦屋市教育委員会による「Ashiya Education Day in autumn」にオンラインで参加いたしました。芦屋市はインクルーシブ教育システム構築のモデル地域として取り組んだ実績があり、今回のイベントではインクルーシブ教育の現状と方向性について専門家による講演とパネルディスカッションが行われました。

インクルーシブ教育は、全ての子どもが共に学べるように一人一人に必要な支援や環境を整える教育で、子どもの困難を本人の問題だけにせず、学びを妨げる環境をどう変えていくかという視点を大切にしています。

都合により、パネルディスカッションのみの視聴でしたが、先月行われた教育講演会での佐藤先生のお話にも通じる「教育の当たり前を見直す、普通をアップデートする」という考え方に触れました。困難の原因を個人だけに求めず、環境にある障壁の解消を目指す社会モデルについて、学びを深める機会となりました。

会全体が高島芦屋市長自らの巧みな進行で進められており、芦屋市全体で教育施策に力を入れている感じが感じられました。市長からは「昨年度から研究指定校の取組を辞め、先生方が自ら取り組みたい研究を深められる仕組みに予算を充てている」とお話がありました。「先生方が積極的に研究に取り組む姿から、先生達は学びたいのだと実感し、自治体が学びの環境を整えることの意義を感じている」とのことでした。

登壇者からは「インクルーシブ教育は困っている一部の子どもだけでなく、全ての子どもを対象とするものであり、障害の有無に関わらず誰もが何らかの障壁に直面し得る」というお話がありました。また合理的配慮に対して「あの子はずるい」という声が出る背景には、他の子ども達の困り事が十分に聞き取られていない場合もあるとの指摘がありました。

困った時に困ったと伝え合える文化を育み、誰かに負担がかからない土壌を作ることが大切だと学びました。互いの違いを認

め、尊重し合う心を育むインクルーシブ教育は、子どもの成長にとって大変重要と考えます。本市においてもインクルーシブな観点から教育に取り組んでいると思いますが、今後も推進していただけることを願います。

奥教育長： ありがとうございます。内村委員、お願いいたします。

内村委員： 報告させていただきます。

8月23日の第1回日置市スポーツ×パラフェスタ2026について少し補足しますと、吹上の実総アリーナで午前9時から午後2時まで開催され、スタッフとして参加しました。これは、長年親しまれた4地域の町民体育大会に代わるもので、4地域のスポーツ協会長も関心を持って参加されていました。

私は、フラゴラッド鹿児島島のバレーボール体験コーナーの係をしました。フラゴラッド鹿児島島のメンバーは、体験に来た一人一人に丁寧に声掛けし、体験者がバレーボールを楽しむ雰囲気作りがとても上手で、終わると気軽に記念写真を一緒に撮っていました。

シーズンが始まると、プロとしての真剣勝負が始まりますが、それ以前にどれだけ県内でファンを増やしていくかが課題だと思いました。他のプロチームは豊富なスポンサー企業がついていますが、フラゴラッド鹿児島島は地元の人がファンになって盛り上げていかなければならないと実感しました。

9月5日は、中学生の吹奏楽演奏を2回鑑賞する機会に恵まれました。

1回目は伊集院文化会館で、筋ちゃんサミット&支え合いフォーラムが開催されましたが、会のオープニングを伊集院中学校吹奏楽部が演奏しました。文化会館舞台に50人程の部員が登場して、ジュニアオーケストラと遜色無い程の素晴らしい演奏を披露しました。

当日の会の参加者は殆ど高齢者でしたので、観客に合わせて、昭和歌謡曲を3曲演奏しました。1曲目は美空ひばりさんの「川の流れのように」を厳かに、2曲目は千昌夫さんの「北国の春」を、演奏と合わせて、吹奏楽部OBで、現在、伊集院高校1年生男子が着物姿で歌いました。素晴らしく上手で、観客も驚き、ぐんぐん引き込まれ、終わると万雷の拍手でした。3曲目は、哀愁

漂う昔を偲んだ「ふるさと」でした。指揮者の帖地校長先生と吹奏楽部部員が一体となった素晴らしい演奏に、観客から感動の拍手が会館いっぱいに鳴り響きました。伊集院中学校生徒が文武両道で励んでいる様子が見られて嬉しかったです。

2回目は、日吉学園吹奏楽部定期演奏会を鑑賞しました。例年の会場である福祉センターは改修工事のため使用できず、体育館での開催でした。暑さを避けるため、夕方5時30分から7時までの演奏会でした。

9年生3人にとっては最後の演奏会となり、下級生から感謝の言葉がありました。部員9年生3人、8年生5人、7年生2人の合計10人のこじんまりとした演奏会でしたが、保護者や学園の児童、生徒、地域の方々やOBなど、たくさんの観衆が訪れて、全13曲の演奏を十分に楽しみました。

最後にOBや保護者8人が加わり、合計18人で演奏すると、音の厚みが全く違い、物凄く体育館内に響きました。7年生2人も入部から僅か5カ月で素晴らしい成長を見せてくれました。また、部員が少ないため、一人が何役もの楽器を演奏する様子を見て、少ないながらも一人一人が挑戦している姿勢に、思わず「頑張れ」と声をかけました。

8月31日は、子ども会のラジオ体操の最終日でした。8月24日から通算15日間、新1年生から9年生までが保護者や地域の方々に見守られて、早起きをしてラジオ体操を続けました。時代の流れでラジオ体操をしない子ども会も増えていますが、今一度、ことわざの「早起きは三文の徳」を親子で実践してほしいと思いました。

9月17日の伊集院北小学校の学校訪問は、中島委員、鶴木委員、中川委員が述べられましたので、私からは割愛します。以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。

それでは、私から報告いたします。

前回も申し上げましたが、8月27日に横田慎太郎さんの顕彰碑建立委員会の方々から各学校と市立図書館に「奇跡のバックホーム」という図書の寄贈がございました。横田さんのお父さんと建立委員会の方々から、私共へ図書を120冊贈呈していただきました。

た。各学校と図書館に20冊ずつです。各学校でたくさんの子ども達に読んでほしいと思います。

それから、9月議会が行われておりますが、9日、10日は一般質問がございました。教育委員会関係は、GIGAスクールの取組やウミガメ保護、学校の洋式トイレの設置状況、フラゴラッド鹿児島県SVリーグ参戦への市の対応などの質問・指摘・提言などをいただきました。以上でございます。

4 議事

【報告第8号 令和8年度日置市一般会計補正予算(第3号)の市長への意見具申について】

奥教育長： 報告第8号令和8年度日置市一般会計補正予算(第3号)の市長への意見具申について説明をお願いいたします。

有馬課長： 報告第8号令和8年度日置市一般会計補正予算(第3号)の市長への意見具申について説明いたします。

資料1ページです。令和8年度日置市一般会計補正予算(第3号)について意見を求められ、臨時に代理し、別紙のとおり回答したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものでございます。

資料3ページのように予算議案に関し意見を求められ、資料2ページのように原案のとおり同意すると回答したものでございます。

補正予算の概要は6ページでございます。第1条です。今回の補正予算の総額は3億3,120万2,000円を追加し、補正後の予算総額を342億2,101万5,000円とするものです。

9ページをご覧ください。10款教育費で2,277万4,000円を追加し、補正後の額が31億5,081万1,000円でございます。主な内容は、東市来中学校放送機器の不具合に伴う備品購入費の計上、プロスポーツチーム地域振興活性化事業補助金の創設に伴う予算計上でございます。

詳細は、説明資料で説明いたします。まず、教育総務課所管分についてです。歳出から説明いたします。別冊の令和8年度9月補正予算(案)説明資料、7ページをご覧ください。

10款01項02目事務局費です。03節職員手当等は職員手当の異動

に伴うもので、23万3,000円の増額補正でございます。08節旅費の普通旅費は学校教育課指導主事の赴任旅費の執行確定に伴い75万円を減額するもので、費用弁償は子ども支援センターの教育相談員の年度途中の交代に伴い通勤費用に不足が生じることから4万7,000円を増額するものです。合わせて70万3,000円を減額計上しております。

11節役務費は、自賠償保険料の改定に伴い公用車1台分の保険料として1,000円を増額計上しております。24節積立金は、普通預金利子の見込みに伴い3,000円を増額し、基金へ積み立てるものでございます。

10款02項01目学校管理費(小学校)、03節職員手当等は職員手当の異動に伴うもので、一般職住居手当24万円を増額計上しております。10款03項01目学校管理費(中学校)、03節職員手当等はこちらも職員手当等の異動に伴うもので、一般職住居手当25万2,000円を増額計上いたしました。

17節備品購入費は、東市来中学校の放送機器に経年劣化による不具合が生じていることから機器の更新を行うため306万9,000円を増額計上いたしました。

10款04項01目幼稚園費です。幼稚園送迎車の運転手1人の減員に伴い、01節報酬92万4,000円、資料8ページの04節共済費で社会保険料2,000円、08節旅費で通勤費用に掛かる費用弁償4万8,000円をそれぞれ減額するものでございます。

歳入について説明いたします。3ページの一番下の段をご覧ください。15款02項07目教育費国庫補助金でございます。次世代公務DX環境整備事業の初期構築費用が国の公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金の対象となり、本年8月に合計57万6,000円の交付決定を受けたことから歳入に計上するものでございます。

まず1節小学校費国庫補助金は、小学校分の補助対象経費の3分の1に相当する43万2,000円を増額計上しております。続きまして、02節中学校費国庫補助金は、中学校分の補助対象経費の3分の1に相当する14万4,000円を増額計上するものでございます。

5ページをご覧ください。17款01項02目利子及び配当金でございます。20節学校教育施設整備基金利子は、普通預金利子の見込みに伴い3,000円を増額計上するものでございます。教育総務課所

管分は以上でございます。

奥教育長： 続きまして、社会教育課入佐課長、お願いします。

入佐課長： 教育振興課分を含みます社会教育課分につきまして説明いたします。

5 ページをご覧ください。上段の18款01項02目01節指定寄附金です。所管は市長部局の商工観光課になりますが、プロスポーツの支援を通じて、本市のスポーツ振興や青少年育成地域イベントの活性化、交流及び関係人口の創出並びに市の魅力発信をするため、現在、ガバメントクラウドファンディング「バレーボールでつながる日置市プロジェクト」を活用しておりますので、2,500万円を計上しております。

6 ページをご覧ください。22款01項06目教育債、03節保健体育債は過疎対策事業債減額調整に伴う起債の変更により、1,390万円を減額補正するものでございます。

過疎対策事業債の予定にあった中村商会スタジアム改修工事分3,520万円と、実総アリーナLED照明改修工事分1億410万円、合わせて1億3,930万円を減額し、中村商会スタジアム改修工事の事業費3,523万3,000円の9割、3,170万円を公共施設等適正管理推進事業債に、実総アリーナLED照明改修工事事業費1億414万8,000円の約9割、9,370万円を脱炭素化推進事業債として増額計上するものでございます。債務を過疎債から公適債と脱炭素債へ分けた形になります。

歳出でございます。資料8ページをご覧ください。10款05項01目社会教育総務費、02節給料、03節職員手当等、04節共済費は、6月に行われました人事異動に伴うものでございます。

11節役務費は、先程もありましたが、令和8年11月から適用される自賠責保険料改定に伴う2,000円の増額補正でございます。

10款06項01目保健体育総務費、18節負担金、補助及び交付金は、先程説明しましたガバメントクラウドファンディング「バレーボールでつながる日置市プロジェクト」の寄附金を財源として、プロスポーツチーム地域振興・活性化事業補助金を制定し、対象事業に補助するために寄付目標額の2,000万円を増額計上するものでございます。

10款06項02目体育施設費、17節備品購入費は、日吉の研修棟せ

っぺとべ館内の業務用冷蔵庫が老朽化により故障し、合宿等の利用に支障をきたしているため新規購入したく41万3,000円を増額計上するものでございます。以上でございます。

奥教育長： ただ今説明がありました令和8年度日置市一般会計補正予算(第3号)につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

はい、内村委員。

内村委員： 8ページのプロスポーツチーム地域振興・活性化事業のプロスポーツチームとは、フラーゴラッド鹿児島を指しますか。

入佐課長： 補助金交付要綱はまだ制定しておりませんが、案としては「日置市をホームタウンとして活動しているプロスポーツチームを活用し、本市のスポーツ振興等を推進するため予算の範囲内で交付するもの」としてあります。今、本市をホームタウンとして活動しているのはフラーゴラッド鹿児島しかございませんので、フラーゴラッド鹿児島を対象とする形になります。

奥教育長： 他にございませんか。

(特になし)

よろしいでしょう

(異議なし)

それでは報告第8号は、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第8号は、原案のとおり承認されました。

【報告 第8号 承認】

5 その他

(1) 事務局長

(2) 学校教育課長

(3) 社会教育課長

(4) 各支所教育振興課長

ア 東市来支所長教育振興課長事務取扱

イ 日吉支所教育振興課長

ウ 吹上支所教育振興課長

(5) その他

6 閉会

奥教育長： それでは日置市教育委員会 9 月の定例会を終了いたします。

終了

署名委員

石井 友裕

署名委員

鵜木 親志